

2026 年 7 月 15 日

自治体と寄付者をつなぐ信頼性の可視化に向けた取り組み 西川町ふるさと納税返礼品に SBI トレーサビリティ株式会社の NFC タグ×ブロックチェーン技術「SHIMENAWA(しめなわ)」を導入

西川町(町長：菅野大志)は、ふるさと納税返礼品に、SBI トレーサビリティ株式会社(本社：東京都港区、代表取締役：林口文彦)のトレーサビリティ・サービス「SHIMENAWA(しめなわ)」を導入いたします。

「SHIMENAWA」導入の取り組みについて

本取り組みは、ブロックチェーン技術と NFC タグを組み合わせたトレーサビリティ・サービス「SHIMENAWA(しめなわ)」を用い、ふるさと納税返礼品そのものに NFC タグ付きのシールを貼付することで、寄付者が正規の西川町の返礼品であることを確認できるとともに、返礼品や自治体に関する情報へ直接アクセスできる仕組みを導入するものです。

近年、ふるさと納税制度の利用拡大に伴い、返礼品の多様化や流通量の増加が進む一方で、返礼品が正規のものであることを分かりやすく示す仕組みや、寄付者に対して自治体の魅力や使途を十分に伝える手法の重要性が高まっています。また、一度の寄付にとどまらず、継続的に自治体との関係を築いていく「関係人口」の創出が、全国の自治体に共通する課題となっています。

西川町では、ふるさと納税返礼品の一部に「SHIMENAWA(しめなわ)」を導入し、返礼品に直接 NFC タグ付きのシールを貼付します。寄付者がスマートフォンを用いて当該 NFC タグにアクセスすることで、返礼品に紐づく各種情報を確認できる仕組みとしています。

本取り組みにより、寄付者は返礼品を受け取ったその場で自治体や返礼品への理解を深めることができ、寄付した実感や当事者意識の向上につながることが期待されます。また西川町にとっては、寄付者との継続的な接点を持つことで、関係人口との関係維持・強化や継続的なふるさと納税先として想起される基盤づくりに寄与します。



返礼品に貼るタグシールイメージ画像

SBI トレーサビリティ(株)について

- ・企業名：SBI トレーサビリティ株式会社
- ・本社：東京都港区
- ・代表者：林口 文彦 氏

ブロックチェーン技術を活用し、原材料調達から生産・流通・消費・廃棄に至るサプライチェーンの透明化を担保する「SHIMENAWA」などのサービスを展開する企業です。

(参考) SHIMENAWA(しめなわ)について

SHIMENAWA(しめなわ)は、IC タグ(RFID/NFC)とブロックチェーン技術を用い、現物資産やカード等に固有 ID を付与し、関連情報を一元的に記録・管理するトレーサビリティ・サービスです。

真正性の確認、利用・配布履歴の記録、タグ経由でのデジタルコンテンツ配信、入出荷・在庫管理など、用途に応じた管理に対応しています。

SHIMENAWA の各機能の技術的詳細や仕様については、公式サイトをご参照ください。

<https://www.sbitraceability.co.jp/>



返礼品に貼られた NFC 内蔵シールをスマートフォンでタップすることで、町の情報などのコンテンツを確認することができます